

研究 ニュース

1. ポット・枠水田の自動給水用水深調節器の作成

試験のためのポットやコンクリート枠水田の水管理において、所定の水深を保つためにはいろいろの工夫がされている。その方法としてフロート利用の自動給水装置があるが、小型のポットなどへの適用はなかなか難しいとされている。

そこで、当研究所では除草剤試験において極めて重要な水管理の安定、自動化を考慮し、鉢花などの給水に利用されている自動給水装置（オートキューサー：坂田種苗KK製）と併用できる小型で、かつ簡単に自作できる自動水深調節器（自動給水装置）を試作したのでここに紹介する（考案者：植調研；山内庄一路）（図1，図2参照）。

2. 沖縄基礎試験の実施

平成3年度沖縄基礎試験は、例年通り沖縄県名護市で基礎試験36剤，ジャンボ剤67剤を供試して実施した。

ジャンボ剤については、名護市羽地に60aの圃場を設け2月14～15日移植，一区50㎡規模で検討を行った。2月11日に－4処理，3月4日にノビエ1.0/期，3月12日にノビエ2.0/期それぞれ処理を行った。代かき直後の処理で，著しい軟弱部分で一部埋没した剤はあったものの拡散，効果，薬害とも粒剤処理区と遜色のない結果を得た。

この試験の結果は4月16日に報告した。

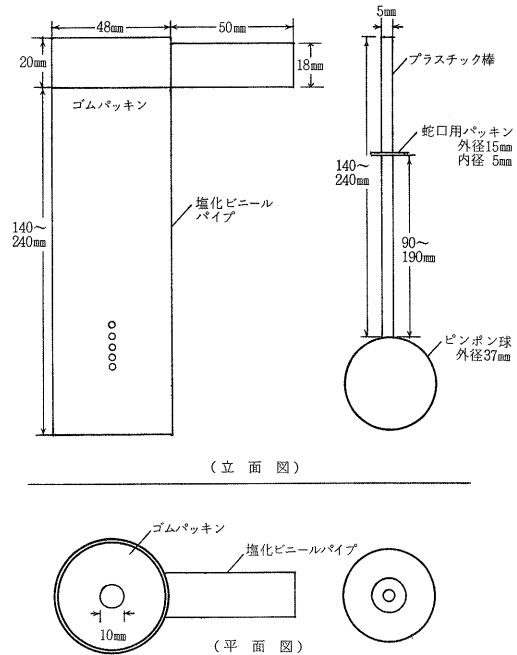


図1 小型自動水深調節器

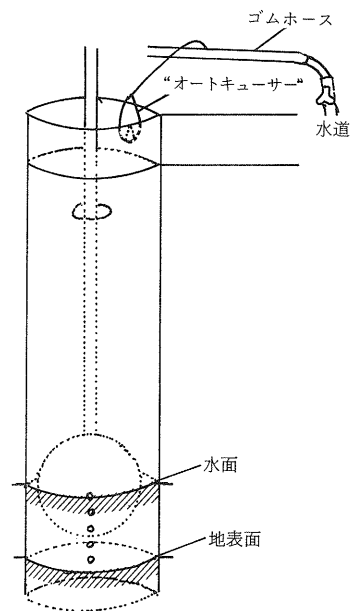


図2 小型自動水深調節器の見取り図